

子どもが伸びるチャンスを活かそう

青少年育成アドバイザー養成講習会

【令和4年度募集要項】

1, 趣 旨 今日、少子高齢化、IT化、経済のグローバル化、格差の増大など目立ち始め、青少年においても、規範意識の低下、問題行動の多様化、虐待や携帯ネット被害の増加、ニート・引きこもりなど自立できない若者など様々な問題が生じ、新しい青少年育成が課題となっています。

そこで、広く呼びかけ、青少年の心身の発達過程を理解し、SDGs視点も取り入れ、その健やかな成長と自立を支援するための専門的な知識や技術を学び、地域における日常的な各種青少年育成活動の中核となる指導者を養成します。

2, 期 日 令和5年2月24日(金)～26日(日)【2泊3日】

〔受付：24日12:00～13:00〕

3, 会 場 愛知県青年の家

〒444-0802 愛知県岡崎市美合町並松

1-2 TEL0564-51-2123

会場までのアクセス：JR名古屋駅で乗り換え、名鉄本線名古屋駅から美合駅まで急行約45分、美合駅から南西へ徒歩15分。JR豊橋駅から名鉄本線乗り換え美合駅まで急行約25分。車の場合は東名高速道路岡崎ICから20分

4, 募集定員 70名

【申込締切は令和5年1月29日まで】



5, 対象者 ①青少年の育成指導・教育・支援等、幅広く青少年に関する活動や仕事をしている人
②青少年指導者としての基礎知識や今日の青少年を理解する手掛かりを学びたい人
③住んでいる地域をいきいきとさせる手がかりや相談・助言について学びたい人

6, 参加費 18,000円(2泊3日の研修費8,000円、食費6,000円、宿泊費4,000円)

※ 宿泊・食事は研修会場です。払込方法は申込後に別途連絡します。特別の理由により宿泊先を別にされる方は参加費14,000円となります。

7, 主 催 全日本青少年育成アドバイザー連合会

8, 主 管 愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会

9, 協 力 全国青少年育成県民会議連合会

10, 後 援 内閣府政策統括官(政策調整担当) 愛知県 愛知県教育委員会

岡崎市 岡崎市教育委員会 愛知県青少年育成県民会議

一般社団法人全国社会教育委員連合 一般社団法人全国元気まち研究会

11, 研修日程と内容 ※講師の都合で講義時間が変更になる場合があります。

日(曜)	プログラム	内 容	担 当
24日 (金)	開講式 13:00~13:20	主催者,来賓挨拶 オリエンテーション	主催者 挨拶 後援者 挨拶
	講義① 13:30~14:30	国の子ども・若者育成支援推進法による 地域協議会の愛知県の取組を知り、困難 を抱える若者の支援策を学びます。	愛知県社会活動推進課課長補 佐 山田 昌代
	講義② 14:40~16:15	人間の成長・発達課程を軸に、それぞ れの発達段階で、どんな関係や活動、経験 が必要か学びます。	群馬大学名誉教授 萩原 元昭
	講義③ 16:30~17:30	今日の青少年育成アドバイザーの役割に ついて考えます。	全日本青少年育成アドバイザ ー連合会顧問 山本 邦彦
	18:30~20:30 全体交流会	夕食をしながら受講生と現アドバイザー でそれぞれの地域の話題を紹介し合い、 交流と絆を深めます。	受講生、講師、協力者(全日 本青少年育成アドバイザー連 合会役員等)
25日 (土)	講義と演習④ 9:00~12:00	相談・助言(カウンセリング)の意味、 実践の基礎と応用及びファシリテータの 意味と手法について学びます。	名古屋大学名誉教授 伊藤 義美
	講義⑤ 13:00~14:30	進化するインターネット社会の現状を知 り、青少年育成者はどのように向き合い 対応すればよいか学びます。	NPO 法人青少年メディア研 究協会理事長 下田 太一
	講義⑥ 14:40~16:10	青少年を育むまちづくりとは、どのよう なものか、その理論と方法、実践につい て学びます。	聖徳大学名誉教授 福留 強
	活動事例紹介⑦ 16:20~17:50	地域で先進的な活動を行っている指導者 の思いや実践活動の具体例を学びます。 (①SDGsの視点を取り入れた青少年健 全育成の在り方を考える ②親が変われ ば子どもも変わる、どのように変われば よいか実践から学ぶ)	① 全日本青少年育成アドバイ ザー連合会長 峠 テル子 ② 鳥取県青少年育成アドバイ ザー連絡協議会長 西浦 公子
	18:50~20:50 演習⑧ 課題研究	課題選択別グループに別れ、各参加者の 自己紹介をしながら自身の活動を振り返 り、テーマにそった問題や課題を明らか にします。	講師(助言者):萩原元昭・ 福留強・下田太一・山本邦 彦・峠テル子・西浦公子、他 に協力者
26日 (日)	演習⑨ 課題解決 の企画立案 9:00~12:00	課題別グループでテーマを絞り、おかれ た背景や必要条件を明確にし、具体的な 方策を立案し、討議してまとめます。	講師(助言者):萩原元昭・ 福留強・下田太一・山本邦 彦・峠テル子・西浦公子、他 に協力者
	発表と助言⑩ 13:00~14:00	グループ別で立案した方策を発表し、助 言者からのアドバイスを参考にし、明日 からの活動を明確にします。	助言者:萩原 元昭、福留 強、下田 太一 他
	閉講式 14:00~14:30	挨拶と修了証授与	主催者

1 2, 課題選択

研修の内容をより深めるために課題別に分かれ意見交換やグループワークを行います。
希望課題番号を下記より選び「申込書」に記入下さい。

- ① 青少年の居場所づくりやニート・引きこもりの現状と向き合い方を学ぶ。
- ② インターネット時代の子育て教育に関わる知識と、啓発への具体策を学ぶ。
- ③ コロナ禍で停滞している青少年健全育成活動を SDGs の視点を取り入れ、どう活性化するかについて学ぶ。

1 3, 修了証

この講習会において①～⑩全単位の取得者には修了証を発行いたします。新受講者は全単位の取得を原則とします。

1 4, その他

- ① この講習会は既青少年育成アドバイザーのフォローアップ研修も兼ねています。
- ② コロナウイルス感染防止に関する対応は、開催時における国及び地方公共団体等のコロナ感染防止対策等の指針に基づきます。

【研修についてのお問合わせ先】

全日本青少年育成アドバイザー連合会後継者養成委員長 宇野 晃 携帯 090-6571-5955
全日本青少年育成アドバイザー連合会事務局長 宮後 弘満 携帯 090-8236-0376

◆ 全日本青少年育成アドバイザー連合会及び青少年育成アドバイザーについて

全日本青少年育成アドバイザー連合会は、都道府県青少年育成アドバイザー会をまとめる全国組織で平成 9 年 9 月に発足し、会員数は 1,300 名です。「子どもが伸びるチャンスを活かそう」「大人が変われば子どもも変わる」などスローガンとした地域運動や育成課題の全国研究集会、後継者づくりの青少年育成アドバイザー養成講習を行っています

青少年育成アドバイザーは、(旧) 社団法人青少年育成国民会議が昭和 53 年から平成 20 年まで「青少年指導者のための通信教育」で、平成 24 年度から全日本青少年育成アドバイザー連合会の「養成講習会」(既に 230 名修了)を受講し、青少年育成活動の分野において専門的知識及び経験を有する育成指導者として認められた方です。

事務局長 宮後 弘満 〒651-1304 兵庫県神戸市北区京地 2 丁目 8-6

◆ 愛知県青少年育成アドバイザー連絡協議会について

平成 15 年 6 月に発足し、現在会員数は 68 名で、資質向上のための定例会や研究集会(テーマ: 中高生の居場所づくり、キャリア形成、子育て支援、ネットモラル啓発等)を主催しています。また、アドバイザーニュースを発行し、地域育成課題解決のための方策を提唱し実践も行っています。

愛知県青少年団体連絡協議会や、東海・北陸ブロックや全日本青少年育成アドバイザー組織に加盟し、全国の仲間や各種青少年団体と連携し、情報交換や共同事業を実施しています。

また、愛知県青少年育成県民会議にも加入し、青少年育成県民運動に参画しています。

会長 峠 テル子 〒480-0304 愛知県春日井市神屋町 2298-434

携帯 090-1989-7410

令和4年度青少年育成アドバイザー養成講習会申込書

【申込方法】下記の事項を全て記入の上、FAX又はeメールでお申込み下さい。

FAX先 0565-45-7586 宇野 晃 宛て

Eメール：seinendan2105@hm.aitai.ne.jp

【令和5年1月29日（日）までにお申込み下さい】

(ふりがな) 氏 名		性別 男 ・ 女	生年月日 昭和・平成 年 月 日
住 所	〒		
所 属 (団体・職場)		電話番号 (携帯)	
Eメールアドレス		FAX	
課題選択 宿泊手配 事前受講等 (○をして下さい)	【希望課題選択】 (P3の12参照) 1、居場所づくり 2、インターネット 3、育成活動の活性化	【宿泊先の手配】 1、主催者手配希望 2、自分で手配する 理由：	【事前に受けられた講座等】 1、新規受講者（今回が初めての場合） 2、アドバイザー入門通信講座受講中、又は修了 3、各県アドバイザー入門講座修了 4、既アドバイザーフォローアップ

※ 生年月日の記入は本講習会参加者全員に保険を掛けますので必ずご記入をお願いします。

※ 申込書が不足する場合はコピー又は全日本アド連HPからダウンロードして下さい。

※ お知らせいただいた個人情報は本講習会の運営及び修了・認定に関する事以外では使用しません。

※ この講習会では、主催者広報や子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。撮影した写真や映像等は、広報用にHPやSNS、刊行物等に掲載することがあります。なお、子どもゆめ基金へ報告用に提出した個人情報（写真）は、「（独）国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。